

施設の自己評価

令和 7 年度

園名: キングダム・キッズ大正

施設の全体目標

- ◆職員の会話を大切にし、連携を深める(コミュニケーション、伝達ノートの活用)
- ◆戸外遊びの内容を工夫する

今年度の取り組みの中間評価【8月】2月の反省評価の時に、次年度の取り組みを決められていなかったため、日々の保育を振り返りながらできていること、足りていないところの意見を出し合った。今年度は指導計画に関する研修に参加予定なこともあり、担任の思いだけで作成するのではなく、フリー保育士の意見も聞きながら計画に反映できるよう月初にしていたクラスミーティングを中旬頃に変更し、そこで出た意見を計画に反映させられるようにまずは約半年、取り組んでみようとなった。

今年度の取り組みの評価【2月】意見・改善案にも記入しているが、クラスミーティングの時期を月初から半ばに変更することで、ややこしくなってしまった職員もいるが、月の計画の振り返りを半ばにできるということや、残りの期間でどのように保育を進めていくかを考えることができたという良い意見も出た。また、フリー保育士からのアドバイスや意見も反映させやすくなったと感じることができた。全体目標にしている戸外遊びの内容の工夫では、縄やカラーコーンを取り入れたことで以前よりも充実させられているのではないかと思う。コミュニケーションは日頃から取れていると思うが、新しい職員が4名増えたこともあり、今後もより一層大切にしたいと思う。

A B C Dの欄に○を付けてください

- A: 理解して十分に取り組んでいる B: 概ね取り組んでいる
- C: 理解が不足し十分に取組んでいない D: 取り組んでいない

R 7 年 8 月 12 日

R 8 年 2 月 24 日

項目	内容	評価				意見・改善案	評価				意見・改善案
		A	B	C	D		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している		○			・「○○したらできるよ」というような声掛けを意識できているが、「○○したらだめ」「○○したらできないよ」等の否定的な言葉がけになってしまう時もある。		○			・子どもの権利について全員が十分な理解をしているかと問われると答えられない部分もあり不十分である。外部の研修に参加し共有しながら内容の理解に努めた。・前向きな言葉がけをするが子どもに伝わらないと否定的な言葉がけに変わることがある。こういった場面ではどういった言葉がけが良かったのか、職員間で話し合える関係性ができているので、相談し合いその都度改善につなげていきたい。
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない		○					○			
	長期欠席の子どもの状況把握をしている	○						○			
	子どもの様子で気になることは関係機関に報告している	○						○			
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している	○						○			
教育・保育施設ならびに保育者の質の向上	職員間で子どもや他の職員を否定するような話や発言をしない										
	園長は、地域の状況を把握し、市や区の目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている										
	保育所保育指針を十分に理解し向上心をもって教育・保育に取り組んでいる										
	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている										
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている										
	教育、保育実践を互いに見合う等、学び合いの基礎ができている										
	保育者等の自己評価結果に基づいた施設長と職員の話し合いを実施している										
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている										
教育・保育計画	全体的な計画（教育課程やそのほかの計画を含む）は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されている（職員の参画のもとに作成している）		○			・クラスミーティングを月初にしている為、前月の反省と1カ月の計画を共有できているが、担任以外の意見は反映できていない。フリー保育士の意見も反映できるようミーティングの時期を変更してみる。		○			(クラス担任)前回のミーティングと今回では振り返り方が少し違うので、ややこしい部分もある。内容のまとめ方を他の職員と相談しながら整理していく。一方で時期をずらすことで、クラスの1カ月の計画を途中で振り返る事ができ、残りの期間でどのように保育をしていくかを考えることができた。また、他の職員からの意見もその後の保育や計画に反映させられるタイミングなので今後も継続したいと思う。(フリー保育士)クラス担任と大きく意見が違っているということはない。今後も気付いたことなどがあれば積極的に共有していきたい。
	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者が持っている。			○					○		
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している			○					○		
	一人一人の子どもの発達状況、月や期の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話合う機会を設けている	○							○		
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料（保育所児童保育要録）を確実に送付し、情報共有を図っている	/	/	/	/				/	/	

R 年 月 日

R 年 月 日

項目	内容	評価				意見・改善案	評価				意見・改善案
		A	B	C	D		A	B	C	D	
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている										
	各保育室は整理整頓され、雑然としていない										
	各保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びを準備している										
愛着形成	子どもの成育歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている（0・1・2歳児）										
	保育者は一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている										
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している（3歳児以上）	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
健康・安全	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる										
	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している										
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている										
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している										
	子どもが睡眠しているときは必ず保育者が保育室にいる										
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している										
	年齢発達に合わせて、ぶくぶくうがいや正しい歯みがきの方法を指導している										
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる										
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えとともに、1日3食野菜を食べる等望ましい食習慣の大切さを家庭に伝えている										
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている										
連携	緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている										
	子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している										
特別支援	0・1歳児からの教育・保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している										
	記録を基に、どのような場面で子どもが困っているのかを検討し、必要に応じて専門機関（市や区の相談窓口等）の助言を受けている										
地域保護者、子育て支援した及び	子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている										
	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている										
	区や市、地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭を関係機関につなげている										
子育て支援した及び	施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している										